



発行所 独立行政法人 国立病院機構 西別府病院
住 所 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見4548番地
TEL 0977-24-1221(代表)
FAX 0977-26-1163(代表) 0977-76-7231(連携室)
ホームページアドレス [http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)



病院屋上から

目 次

令和5年度を迎えて	2	ペルーの医師、理学療法士が病院見学に来ました	8
新任のご挨拶	3	ひだまりだより	9
三吉野産治先生のご逝去を悼む	7		

- 理 念** 私たちは、常に研鑽し、患者さまのために最良の医療を提供します
- 基 本 方 針** 1. 患者中心の医療 2. 患者の権利と尊厳を守る 3. 政策医療の推進 4. 地域医療への貢献
5. 最良・安全医療の提供 6. チーム医療の推進 7. 経営基盤の確立
- 患者さまの権利** 1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利 2. 十分な説明を受け、質問する権利
3. 自分で医療の内容を決定する権利 4. プライバシーを保護される権利
5. カルテ開示を受ける権利 6. セカンドオピニオンを受ける権利 7. 臨床研究への参加と拒否の権利

令和5年度を迎えて



院長
後藤 一也

西別府病院の広報誌をご覧ください誠に有難うございます。平素は大変お世話になっており感謝申し上げます。令和5年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

広報誌表紙には、病院屋上で撮影された新採用者、転入者の集合写真が掲載されています。新採用者は当院・国立病院機構の職員としてまさに第一步を踏み出し緊張の中にも晴れがましさがうかがえます。転入者には当院勤務が初めての職員に加えて以前勤務したことがある職員もいます。フレッシュな視点、他施設での経験の活用など新たなパワーを加えて、より良い病院にするため職員一同力を合わせて努めていく所存です。

病院は人員確保、光熱費増大、業務負担、病床利用率確保など数多くの課題を抱えています。課題解決のため、令和5年度の病院運営方針を掲げ、目的、方針、目標を定め、目標達成に取り組んでおります(内容は病院HPをご覧ください)。目標達成に向けて私自身は、「初め有らざるなし克く終わり有る鮮し」という文言を肝に銘じて業務に取り組んでいます。

当院の使命は、当院を利用される患者さんにより良い医療・福祉サービスを提供し、サービス提供を通じて職員にやりがいを抱いてもらうことにあります。集合写真のとおり、眼下には別府市街、別府湾が広がり、周囲は緑あふれた療養環境としては申し分のない地に立地しております。新採用者、転入者もこの眺望に心ときめかしたと思います。ときめきをやりがいにつなげていくことが病院の務めであると写真を見返し思いを新たにしています。



新任のご挨拶



事務部長
横尾 大輔

4月1日付で長崎医療センターから赴任して参りました事務部長の横尾と申します。平成14年4月から3年6か月間大分医療センター（赴任時：国立大分病院）に勤務して以来の約20年ぶりの大分県勤務となりました。前は家族での赴任でしたが当時幼稚園だった2人の娘も立派な？成人となり時の流れの速さを感じています。

さて、新型コロナウイルス感染症については5月8日から感染症法上の位置付けが5類へ移行しました。移行しても病原性や感染力が変わるわけではないので、引き続き感染対策を取りながら社会を動かしていくという現在は大きな転換期にあります。

一方、当院も大きな転換期にあります。院長が示された当院の今年度の目標には「患者確保」「収支黒字化」が最初に掲げてあり、昨年行った病棟再編をはじめ経営改善対策に取り組んでいるところであり、その結果を出す必要があります。

私も当院が安定した運営ができるよう微力ながら貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。



薬剤部長
吉富 久徳

このたび、琉球病院より着任しました薬剤部長の吉富と申します。出身は佐賀県です。当院は7年ぶり2回目の勤務となります。懐かしい職員の皆様とお会いすることができ、嬉しく思います。趣味は食べ歩きで、美味しいお店があれば教えてください。さて、多様化する医療の中で、個々の患者に適正で安全な薬物療法が行えるよう、業務に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく申し上げます。



神経内科 医長
花岡 拓哉

2023年4月から勤務しております、花岡拓哉と申します。1998年に大分医科大学を卒業してから大分県内を中心に勤務しており、2013年度にも西別府病院にお世話になりました。このときは1年だけの勤務でしたが、印象的な患者さんとの出会いも多く、和気あいあいとした雰囲気の中だけでも貴重な経験を積むことができました。今回、おかけりなさいとお声かけくださる方もあり（患者さんもスタッフも）、あらためて勤務できることに喜びを感じております。さらに大学の同期を含め以前の職場でお世話になった方々も多く、ありがたいご縁に感謝しています。

当院には神経難病の患者さんが多いですが、診断、治療、療養のいずれの場面にも課題は多く、少しでも良いものにしていきたいと考えています。とくに診断の場面では私が担当できるものに神経生理検査（神経伝導検査、針筋電図検査など）があり、外来の患者さんにも対応しますので、気になる患者さんがおりましたらお声かけください。

10年前と比較すると院内の病棟再編やCOVID19対応を含めた医療環境の変化などありますが、まずは自分のできることをひとつひとつ行うことで患者さんや病院、さらには大分県全体にも貢献できたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

新採用者

はじめまして

管理課 庶務係 河野 峻平

このたび西別府病院に採用されました管理課・庶務係の河野峻平と申します。出身は宮崎県で高校まで野球部に所属していました。最近はゴルフが趣味です。初めての一人暮らしで分からないことが多々あるのでアドバイスなどを頂けると有り難いです。廊下や管理課内で見かけた際にはお声をかけてください。よろしくお願いたします。

はじめまして

療育指導室 児童指導員 鳥羽瀬 幸成

このたび採用となりました療育指導室の鳥羽瀬と申します。出身は熊本県天草市です。慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、患者様の笑顔のために少しでも早く仕事を覚えられるよう楽しみながら努力します。どうぞよろしくお願いたします。

はじめまして

研究検査科 臨床検査助手 新井 夢佳

このたび採用となりました研究検査科の新井夢佳と申します。出身は福岡県で初めての一人暮らしとなり最初は不安でいっぱいでしたが今は楽しんでいます。2ヶ月経ち業務にも慣れてきましたが、もっと勉強して仕事に励みたいと思います。よろしくお願いたします。

よろしくお願いたします

栄養管理室 栄養士 上田 麻未

このたび採用となりました栄養管理室の上田麻未と申します。出身は佐賀県です。趣味は食べ歩き、ドライブも好きです。仕事を始めて2ヶ月たちましたが、まだまだ覚えることがたくさんあり、不慣れなためご迷惑をおかけすることもあると思います。早く仕事を覚え頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

はじめまして

東5病棟看護師 大島 達徳

このたび着任（採用）いたしました看護師の大島と申します。経験者ではあるのですが分からない事だらけの為、色々教えていただくと助かりますのでよろしくお願いたします。

趣味は筋トレと少年ジャンプの愛読です。もし筋トレする人がいれば一緒に行きましょう。

はじめまして

東1病棟看護師 後藤 千優

このたび着任いたしました東1病棟の後藤千優と申します。新しい場所で緊張しますが全力で頑張りたいと思います。また、別府で暮らすのは初めてなので何かおすすめのご飯屋さんがあれば教えていただきたいです。よろしくお願いたします。

はじめて別府で暮らします

東1病棟看護師 湊 奈々

このたび採用となりました東1病棟の湊奈々と申します。看護学生の時実家から通学していましたが、今回人生初の一人暮らしを別府では始めました。これから仕事と生活を両立できるように一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

よろしくお願いたします

東2病棟看護師 秋田 桃香

このたび採用となりました東2病棟の秋田桃香と申します。まだまだわからないことも多くありますが、自身の学びを深めていきたいと思っています。時々リフレッシュしながら患者さんの看護に励んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。

はじめまして

東5病棟看護師 山本 雪那

このたび採用となりました。東5病棟の山本と申します。好きなことは、甘いものを食べることで、休日はカフェ巡りをしています。オススメのカフェがあったら教えてください。不安なことも沢山ですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

はじめまして

東5病棟看護師 工藤 葵香

このたび採用となりました、東5病棟の工藤と申します。出身は大分です。趣味は神社やお城を見ることです。

不安なことも多いですが精一杯頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

はじめまして

東2病棟看護師 藤野 凌時

このたび新採用されました東2病棟の藤野凌時と申します。大分市の方に住んでいます。動物が好きで特にネコが好きです。一人暮らしを始めたならネコを飼えるよう日々頑張っています。

廊下で見かけましたら声をかけてくれるとうれしいです。よろしくお願ひいたします。

はじめまして

東2病棟看護師 藤原 智子

このたび採用して頂きました看護師の藤原智子と申します。一般企業での社会人経験を経て、47歳で看護師免許を取得する事ができました。なにかと迷惑をかけると思いますが、一生懸命に生きる人生に関わりながら、自分自身成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

はじめまして

東2病棟看護師 繁野 智則

このたび着任いたしました看護師の繁野と申します。既卒者で人工呼吸器やALSなどを学びたいと思ひ入職をさせていただきました。慣れない環境でご迷惑をおかけすると思ひますが、1日でも早く業務を覚え、地道に看護の学びを深めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

新人看護師のみなさん



転入者

戻って来ました

企画課長 辻林 淳一

4月1日付で赴任しました辻林です。当院は採用された施設で、今回23年ぶりに戻ることが出来ました。新しくなっている所もありますが、変わらない所もあり懐かしく感じています。これから心新たに少しでも貢献出来ればと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。

7年ぶり2回目の勤務です

管理課 庶務班長 入江 遼太

鹿児島医療センターより赴任しました庶務班長の入江です。平成24年～平成28年の間、入院係長・庶務係長として勤務しておりましたので、当時ご一緒させて頂いた方々から「ひさしぶり」とお声掛け頂き、嬉しい限りです。

微力ながら病院に貢献できるよう、精進して参りますので、何卒よろしくお願ひ致します。

はじめまして

専門職 岡部 達枝

国立療養所奄美和光園から参りました、専門職の岡部です。初めましての方もお久しぶりの方もよろしくお願ひします。2年前は国立病院機構にいたはずなのに、10年前は医事にもいたはずなのに、改めて覚えていくことが多すぎて戸惑いばかりです。不慣れでご迷惑をおかけすると思ひますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

はじめまして

放射線科 特殊撮影主任 橋本 達也

別府医療センターより異動で参りました放射線技師の橋本達也です。出身の大分県内でまた働けることとなりました。ここ最近の趣味は、アウトドアで県内のキャンプ場を巡っています。同じ趣味や、興味をお持ちの方など、お気軽にお声かけ下さい^^

戻って参りました

リハビリテーション科 副理学療法士長 西崎 武文

この度、別府医療センターより昇任で参りましたリハビリテーション科の西崎と申します。前回の異動後大分県の2施設をまわり、西別府病院での勤務は4年ぶりとなります。少しでも貢献できるよう尽力していきます。よろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

リハビリテーション科 理学療法士 林 達矢

このたび着任いたしましたリハビリテーション科の林達矢と申します。長崎、熊本を経由し、こちらに配属となりました。新たな環境で様々な新しいことを学ぶことを楽しみながら、患者さんに医療を提供していきたいと思っております。また、西別府病院を盛り上げていけるように活動していきたいと思っております。

はじめまして

リハビリテーション科 作業療法士 大山 美紀

琉球病院より異動してきました。作業療法士の大山と申します。これまで精神科領域での経験しかなく、日々勉強の毎日ですが、患者さん目線でのリハビリを心がけて提供していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

はじめまして

研究検査科 臨床検査技師長 佐藤 圭

このたび着任いたしました研究検査科技師長の佐藤と申します。大分県（大分市）出身ではありますが、これまで大分県内で勤務する機会がなく、別府の町並みがとても新鮮に感じられワクワクして仕事に励んでいます。週末は趣味のアーチェリーでリフレッシュしています。新たな出会いを大切に、皆様と一緒に病院運営に貢献できたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

研究検査科 細菌血清主任 局 朋美

このたび着任いたしました検査科の局と申します。大分暮らしも随分と長くなりました。赴任したばかりでご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、精一杯業務に励みたいと思っておりますのでよろしくごお願い致します。

はじめまして

副看護部長 岩本 早苗

4月1日付けで佐賀病院より配置換えで参りました。別府は初めてですが、風光明媚な景色に癒やされています。微力ながら一生懸命に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

東1病棟看護師長 定行 由美子

別府医療センターより参りました、東1病棟師長の定行由美子と申します。趣味は、食べ歩きと神社仏閣や遺産巡りです。

笑顔で頑張りますので、よろしくお願いいたします。

はじめまして

外来中材看護師長 本村 景子

このたび看護師長として昇任してまいりました、外来・中材看護師長の本村と申します。

初めての県暮らしで不安がいっぱいですが、西別府病院の職員の方々の優しさと明るさにいつも助けられています。廊下で見かけましたら、お気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

はじめまして

東4病棟看護師長 卜部 美代

福岡東医療センターから赴任となりました。大分県には研修や温泉で訪れたことがあり、過ごしやすい環境と実感しております。

赴任して間もないですが、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも早く慣れるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



三吉野産治先生のご逝去を悼む

国立病院機構西別府病院・特定医療法人社団三光会誠愛リハビリテーション病院(福岡)/名誉院長 黒川 徹

私は三吉野産治先生の次に国立療養所西別府病院の院長を拝命した者として、弔辞を述べさせていただきます。

先生は大正15年8月14日、佐賀県唐津近郊の七山村でお生まれになり、鹿児島医専を卒業、熊本大学小児科に入局、昭和35年より西別府病院の前身である石垣原病院に着任され、小児結核病棟を担当されました。昭和39年、九州で初めて開設された進行性筋ジストロフィー症病棟も担当され、以後厚生省筋ジストロフィー症研究班では長年に亘り幹事を務められ、全国的な貢献をされました。西別府病院は昭和45年、大分県より重症心身障害児施設の指定を受け、昭和46年には3病棟120床に拡大されました。昭和53年、結核患者さんが減少する中、小児慢性疾患病棟を立ち上げられ、後にこれを100床にされました。昭和57年、病院長に就任され、以後、国立療養所重症心身障害児障害協議会会長も務められました。昭和57年、保健

功により大分県知事感謝状、昭和63年、別府市医師会創立70周年表彰、平成3年、大分合同新聞文化賞、平成4年、読売新聞第20回医療功労賞を受賞されました。また厚生省重症心身障害研究班、筋ジストロフィー研究班各々の班長として活躍されました。先生がご在任中、西別府病院付属看護学校があり、看護師の育成にも積極的に取り組んでいらっしゃいました。当時、病院は600床、職員400人でありました。平成4年、65歳にて西別府病院長を定年退職されました。平成14年、勲三等旭日章叙勲。その後も、大分・別府地区の病院、老健施設、こども療育センター、医療専門学校等で、93歳まで働かれました。令和5年2月24日に亡くなられました。享年96歳。

ご家族の状況としては、お孫さん二人が各々、大分大学と山形大学の医学部を卒業され、大分と東京にて医師としてご活躍中で、そのことを先生はたいへん喜んでいらっしゃいました。

先生は西別府病院と共にあり、地域医療の発展にも尽くして来られました。ここに感謝と哀悼の意を表します。安らかに眠り下さい。合掌

令和5年2月27日



2022年4月2日



*三吉野産治名誉院長は令和5年2月24日にご逝去されました。本文は、黒川名誉院長に弔辞を書き改めて頂いたものです。紹介されているように、三吉野先生は重症心身障害者病棟や筋ジストロフィー病棟など当院の礎となる病棟の立ち上げ、診療体制の構築にご尽力されました。先生のご功績に改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

(院長 後藤 一也)

ペルーの医師、理学療法士が病院見学に来ました

副理学療法士長 西崎 武文

5月16日(火)に「JICAペループロジェクト大分国内研修」の一環でペルーの医師2名、理学療法士4名が当院の見学に来ました。私自身が本プロジェクトに関わっていることから、今回の見学の企画とコーディネーターをさせていただきました。

本プロジェクトはJICAと大分県理学療法士協会が協働し、ペルーにおける障害児スポーツの普及・促進と、障害児スポーツにかかわるINR(日本でいう国立障害者センター)スタッフの指導技術向上を目的とした3年間のプロジェクトです。その中のメインプログラムである日本研修には、障害児スポーツに関するだけでなく日本の一般的な医療の現場や障害者施策に関する研修も含まれており、別府市内の複数の病院や施設の協力のもとに様々な研修や見学が計画されました。その中で、当院で重度の障害者に対する医療的ケアについて学習してもらうことを目的に、今回の見学を計画させていただきました。

まず、オリエンテーションでは後藤院長より歓迎のお言葉と病院の成り立ちについて話をさせていただきました。その後、各部署を案内しながら入院患者の特徴や病院機能に沿った施設、設備などの説明を行いました。病棟では、患者様の療養環境を見学するとともに、

人工呼吸器やコミュニケーションツール、排痰補助装置などの説明を阿部主任CE、菊池主任OTに行っていただきました。説明をしていただいた方々は通訳を介しての説明となりましたが、伝わりやすいようにうまく言葉を選びながら説明され、ペルースタッフも十分理解できているようでした。

見学終了後、ペルースタッフからは「重度の障害がある方に、ペルーではこのような医療的ケアはできていない。日本は素晴らしい。」や、「ただ機械を使うだけではなく、携わるスタッフが患者に応じて様々な工夫と試行錯誤をしているのがわかる。」という感想が聞かれました。本プロジェクトのスタッフとしてよい研修になったという喜びと同時に、当院のスタッフが日々患者様のために行っていることが伝わり、当院の職員として大変嬉しく、誇らしい思いでした。

今回、私自身が本プロジェクトに参加していることもあり、企画段階から当院の方々には大変なご無理をお願いしましたが、快く引き受けていただき大変ありがたい思いでした。最後に、今回の見学に対してご協力いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。“muchas gracias!!”(本当にありがとうございました)



ひだまり だより

地域連携室・ひだまり師長
村山圭美

「多機能型ひだまり」は春の日差しのように、利用者・家族の方をスタッフが優しく・暖かく支える事業所です。

6月は梅雨のジメジメを感じないように滴の天井飾りとトトロの壁面にしました。トトロの壁面の紫陽花は利用者さん作で、貼り付けも行ってもらいました。

また、今年度は「ひだまり菜園」を行っています。ピーマンがスクスク育ったので、利用者さんと収穫祭をおこないました。利用者さんもニコニコ、ご家族も「このピーマンで野菜炒めするわ」とニコニコで帰って行きました。



Nishibeppu
National
Hospital

独立行政法人 国立病院機構

西別府病院

ホームページは
こちらから →

